

9 飲料缶	19 スプレー缶・カセットボンベ
10 袋類(農業用以外)	20 くぎ・針

(JEAN/クリーンアップ全国事務局・クリーンアップキャンペーン2004REPORT)

① 景観の悪化

写真は長崎県対馬の井口浜の写真(2006年2月撮影)です。
本来美しかった海岸が漂着ゴミのため無残な姿となっています。
景観が悪化すると、観光等の海岸利用に支障をきたすとともに、
地元住民の快適な暮らしが阻害される恐れがあります。



▲ゴミの漂着状況
(2006年2月、長崎県対馬 井口浜)

② 危険物の漂着

漂着ゴミの中には注射器などの医療ごみや、化学薬品など危険なものがあります。
このような危険物は、触れると怪我をするだけでなく、病気の感染などの危険もあります。
また、釘やボルトの出た資材・木材、電球などのガラス製品が漂着していることがあります。
はだして海岸を歩けない事態となっているのです。

- 危険な漂流ゴミ
- 医療廃棄物(注射器、薬瓶)
- 釘・ボルトのついた資材、木材
- 電球などのガラス製品
など



▲漂着した注射器
(2007年11月、山形県飛島 青石海岸)

海生生物へのダメージ

漂流・漂着ゴミは海生生物にも深刻なダメージを与えています。
漁具(漁網、かご)やロープなどが漂流・漂着していると、海生生物の体に絡まり、それが原因で衰弱し、死んでしまう場合
もあります。
特に、漁具はゴミとなっても漁獲機能を有しているので、海生生物がその中に入り込んで死んでしまう場合があります
(ゴーストフィッシング)。
また、漂流・漂着ゴミを、エサと間違えて飲み込み、衰弱死するという被害もあります。

- 漂流・漂着ゴミが生物に与える影響
- ゴーストフィッシング
- 誤飲・誤食 など



▲このページの一瞥よへ

▲漁網に絡まったウミガメ
(JEANホームページ <http://www.jean.jp/>)

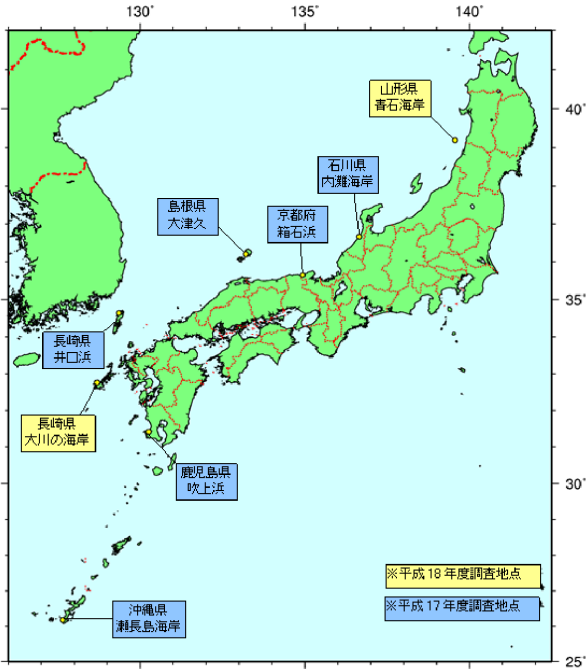
日本海における調査結果

TOP 漂流・漂着ゴミ問題とは 日本海における調査結果 ゴミの移動経路予測(試算中) リンク

環境省では、漂流・漂着 ゴミの移動経路予測に必要なデータ取得のため、日本海・東シナ海に面した海岸を対象に、漂着ゴミの実態調査を実施しました。

どのような種類のゴミが、どの程度漂着しているかを調べるために、平成17年度(2006年1～2月)に、瀬長島海岸(沖縄)、吹上浜(鹿児島)、井口浜(長崎・対馬)、大津久(島根・隠岐)、箱石浜(京都)、内灘海岸(石川)の6地点において、平成18年度(2006年11月)に大川の海岸(長崎・福江島)、青石海岸(山形・飛島)の2地点において調査を実施しました。(調査地点：右図)

- 漂着ゴミの写真
- 漂着ゴミの実態調査結果



▲漂着ゴミの実態調査地点(平成17年度、平成18年度)

漂着ゴミの写真

海岸で見られた漂着ゴミの一例を示します。

※写真をクリックすると別ウィンドウが開いて拡大表示します

●ライター	●ペットボトル	●ポリ容器	●フロート
●医療廃棄物	●漁具・ロープ		

[▲このページの一番上へ](#)

漂着ゴミの実態調査結果

漂着したゴミの中で、ペットボトルや使い捨てライター、ポリ容器などには製造国の記数があり、どこから流出したかが分かるものがあります。このようなゴミを海岸で集め、ゴミの製造国別に回収個数を数えたものが下のグラフです。

調査地点によって海岸の長さが異なるので、個数は海岸の長さ100mあたりの数で示してあります。同じ種類のゴミであっても、漂着数や製造国の比率が海岸によって異なります。